

原発訴訟の弁護士監督

「事故」問う映画 福島で自主上映

原発訴訟に長年取り組んでいる河合弘之弁護士が監督したドキュメンタリー映画「日本と原発」が7日から13日まで、福島市曾根田町のフォーラム福島で自主公開される。市民が復興や地域づくりに参加するきっかけになればと、任意団体「ふくしま地域創生センター」が主催する。

作品は被災者や有識者へのインタビュー、現地調査をもとに、東京電力福島第一原発事故が起きた背景に迫り、エネルギー政策の将来を問う。7日は午後1時からの上映後、脱原発の意義についてシンポジウムを開く。河合弁護士と福島大名誉教授の鈴木浩氏、会津電力社長の佐藤弥右衛門氏らが登壇し、来場者も交えて議論する。

8日からは午前10時と午後6時40分の2回上映する。定員は150人。大人

1500円、大学生以下700円。前売り割引あり。避難者は無料で招待する。問い合わせは同センター(090・3883・3443)。